

# 2023年度 第5回理事会 議事録 2023.12.22

日時：2023年12月22日（金）19：00～21：20

開催方式：ハイブリッド開催（現地+オンライン）

場所：現地）神奈川県横浜市中区真砂町3-33 商業ビル「セルテ」8階801会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、奥原孝幸、望月強併、遠藤陵晃、青木啓一郎、佐々木秀一、澤口勇、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明（15名）

出席監事：錠内広之（1名）

欠席理事：山勢健太郎、野本義則（2名）

欠席監事：野々垣睦美（1名）

その他出席者：木村達（第6回神奈川県臨床作業療法大会長）、兵頭夏海（事務局部員）、薄井文香（事務局部員）

## I. 会長より挨拶

今年最後の理事会となります。職域の拡大に向けて、診療報酬は年明けに審議が進んでいきます。2025年度問題に対して、道筋を作っていけたらと思います。2月に神奈川県庁に行き、作業療法士がどういうところに必要なのかすり合わせをしに行きたいと思っています。職域を守るべくみなさんの意見を聞きながら進めて行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

## II. トピックス 第6回臨床大会 大会長挨拶

(1) 木村大会長よりご挨拶

大会テーマ『コミュニケーション～再動×再考～』

コロナ禍による職場のコミュニケーションの現状の調べによると、コロナ禍前後で会議や上司とのコミュニケーション量は変化がなかった。一方で雑談、立ち話=偶発的コミュニケーションは減ったという結果がある。

その結果、他部署の取り組み、社内の人脈、メンバーの本音を知る機会が減ったという調査であった。

コンセプト：知覚・感情・思考の伝達から互いに影響し合う場・偶発的なコミュニケーションが取れる場

セレンディピティ：発見・ひらめきを見つけられる場を作りたい

講演も2つ予定。研修だけでなく人とコミュにケーションがとれる場を設けたい。

開催地は海老名を予定していたが会場が取れなかったため再検討する。

（神保会長）会場が取れない場合、他の候補地はあるのか。

（木村大会長）時期を変更して再度海老名を検討したい。その他茅ヶ崎や川崎も検討している。

## III. 審議事項

### 1. 後援依頼（事務局）

- ・第21回神奈川県介護支援専門員研究大会への後援依頼

→賛成多数で承認

- ・第29回日本在宅ケア学会学術集会への講演依頼

→賛成多数で承認

### 2. 部員申請（事務局）

- ・学術誌査読委員1名の申請あり

→賛成多数で承認

### 3. 賛助会員 A (事務局)

- ・他県士会への異動に伴う賛助会員 A への申込 1 名あり  
→賛成多数で承認

### 4. 部員公募制度について 継続議題 (福利部)

- 賛成多数で承認

### 5. Confit 導入について 継続議題 (学会評議委員会)

- ・2~3 年契約することで、費用が安く抑えられる

2 年間 . . . 総額の 5%割引

3 年間 . . . 総額の 10%割引

1 年毎に学会を開催する場合は、複数年契約がお得

臨床大会 6 回 (2024)、県学会 20 回 (2025)、臨床大会 7 回 (2026) の多年度契約を結びたい。

オンライン研修でも対面研修でも値段は変わらない。

(吉本理事) 参加費について、こちらから学会本部へ参加費の金額を提示していくのか

(青木理事) 理事会で審議するが学会評議委員会としては、毎回参加費を徴収する方向で提案していく予定

(佐藤(隼)理事) 以前東日本震災で学会が中止になったがそのような場合は繰り越しが可能なのか

(青木理事) 次年度に開催してくれるのであれば繰り越しは可能

- 賛成多数で承認

## IV. 2024 年度事業計画・予算案について

2024 年度事業計画を基にプレゼンテーションを実施。主要項目のみ記載。

### 事務局

事業：理事会・三役会・総会の運営、会員情報の管理・整理、関係団体等に対する業務などを行う。

予算：会議費の引き上げ、全国公益法人協会への税制上管理の委託、事務局員の新規採用(3 名体制)があるため  
2023 年度よりも予算額が上昇。

### 財務部

事業：財務管理の検討、専門家(税理士、会計士)との連携を図る。

予算：会議の回数や実施状況を踏まえ 2023 年度よりも減額。

### 学術部

事業：スキルアップ研修(全 11 回)、研究助成、学術誌刊行、研究倫理審査委員会設置などを行う。

予算：講師謝金や学術誌関連により予算額は上昇。

### 教育部

事業：生涯教育制度関連研修、臨床実習指導者講習会など事業内容は変更なし。

予算：教育部体制の再構築や消耗品、各種研修会や講習会での講師謝金により予算額は上昇。

### 広報部

事業：県士会ニュース発行・送付(ニュースを 8 ページで集約)、対外広報活動、小中高校生(未来の OT)むけの  
作業療法紹介・職業紹介広報部内における企画検討会議などを行う。

予算：イベントが増えたことによる活動費や組織改編もあるため企画検討会議を年 2 回予定しており、予算額は  
上昇。

## 福利部

事業：倫理問題に関する研修会(倫理問題の対応については倫理班での会議を検討中)、表彰関連(適正な表彰者の環境整備)、OT リーダー・役職・管理者向け研修/情報交換・交流会の企画(5 年目交流会、イクメン交流会)などを予定。その他にも、養成校の卒業学年への入会案内を兼ねた神奈川県作業療法士会に関する説明会の開催、部員公募制度などを行う。

予算：検討会議や企画の増加に伴い予算額も上昇。

## 地域リハビリテーション部

事業：地域リハビリテーション人材育成研修(年 4 回)、地域リハビリ関連事業、こどもミーティングなどを行う。

予算：人材育成については神奈川県から 15 万円の委託費が支払われる予定。

## 制度対策部

事業：社会保障制度対策研修会やリハ手帳の普及啓発活動、福祉用具に関する研修会、自動車運転支援に関する研修会などを行う。組織改編の流れの中で、リーダー研修を行なってほしいとの依頼があった。

予算：事業の見直し等しながら予算を検討。

## 規約委員会

事業：定款および規程集の管理、マニュアルの整備などを行う。

予算：専門家への相談で委託費を計上しているが今後、事務局と相談予定。

## ウェブサイト管理委員会

事業：計画全体としては継続。ウェブサイトや X などの運用方法も再度検討していく。

予算：会議費、交通費、公式 LINE アカウントの契約費などを計上。見開きでのチラシ広報を年 1 回は作成していきたい。

## 学会評議委員会

事業：第 20 回神奈川県作業療法学会の実行委員会の運営サポート、第 6 回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会の運営サポート(基本的にはオンラインで行なっていく予定)、県学会および臨床大会の運営マニュアルの整備と内規の整備(学術部と連携)などを行う。

予算：会議費等により予算額は上昇。

## 選挙管理委員会

事業：代議員選挙や役員選挙の運営、実施などを行う。事業内容については継続。

予算：代議員選挙に関する費用を計上しており、予算額は減額。

## 公益法人化対策委員会

事業：計画、予算については公益法人化を想定したものとなっている。是非については決まっておらず、年度内にて公益化について結論を出していきたい。事業計画や予算についてはその決定によって変更していく。勉強会の計画については未定であるが、公益化を目指す場合、規約・財務管理について専門家による担当者に対する勉強会、財務部門から各部、会計担当者への勉強会があることを想定している。

予算：公益法人化を目指す場合に費用が 100 万円程度かかるのとことであるため、2 年間で公益化を目指すのであれば 1 年間で 50 万円が必要となる。そのため委託費 50 万円を計上している。

## MTDLP 推進委員会

事業：MTDLP 基礎研修（2 回開催）、MTDLP 事例報告会の開催（毎月開催）、広報推進活動などを行う。

予算：2023 年度までは講師謝金がほとんど計上されていない状況であった。次年度からは講師に対して基準に基づいた謝金の支払いを行うため予算額が上昇。

## 認知症対策委員会

事業：認知症アップデート研修会開催(当事者を招く研修会は対面、認知思考力を高める研修会はオンラインで行う予定)

予算：来年度は認知症関連事業への部員派遣に繋げていく。運営会議は計 4 回（対面 1 回を予定）。

## 地域包括ケア推進委員会

事業：横浜市の委託事業を予定。来年度から横浜市は介護予防を実施。今後、PT・OT・ST 士会で事務局を作りながら実施していく話も出ている。

予算：現状は今年度と同じ予算で行なっていく。

## エリア化推進委員会

事業：事業の変更はなし。

地域支援活動助成金事業は 2 事業から始めているが、このまま実績が確保できれば 3 事業に増やす予定。代議員ミーティングを実施予定。代議員同士の対面での交流を考えている。

予算：助成金事業の増加もあり予算額は上昇。

## 全体を通しての質疑応答

(奥原理事) 研修会を予定している部署は対面で行う研修の場合は会場費を含めた予算になっているのか。

(佐々木理事) 会場費や交通費を含んだ予算を立てている。

(佐々木理事) 臨床実習指導者講習会は対面でなくてもよいのか。

(奥原理事) ガイドラインにはオンラインでも可能と記載があるためオンラインを予定している。

(吉本理事) 各部署、会議については対面・WEB どちらで計上しているのか。

(田中理事) 部署によって計上が異なると思われる。

(神田理事) 制度対策部は事業数が多いが、業務量としては大丈夫か。

(澤口理事) 今後は部員を増やしていきたいと思う。

(吉本理事) 電子カルテ共有のネットワーク構築について、地域で電子カルテシステムの統一をして、お互いが地域連携する際にすぐ情報交換ができるように民間レベルで行なっているが、県士会の事業としてどのようなことを行うか。

(澤口理事) 今から県や市町村レベルの情報を少しずつ集めていく。県士会でどこまでやっていくかを検討したい。

(澤口理事) 会議費が 1000 円になったが、弁当代とかが影響しているのか。福利厚生費の金額はどうなっているか。

(田中理事) 福利厚生費も 1000 円になっている。

(田中理事) 理事会として会議を対面でどのくらいにするかを決めたい。特に対面会議は会議費と交通費が発生するためオンラインと対面を見極めて頂きたい。次回までに会議の内容を検討して対面にするか、オンラインにするべきなのかを精査した上で再度計上して頂く。

(神保(洋)理事) 会議費の計上は予算立てを改めて行うということで良いか。

(田中理事) 対面なのかどうかを改めて精査してもらい、その上で予算を考えてもらえたらと思う。

(神保会長) 現状の予算案では、収入が 1,900 万円、支出が 2900 万となっており、1,000 万円近く不足している。2023 年度の執行率も踏まえて再度検討して頂き、事業の優先順位も含めて検討頂きたい。

(澤口理事) 会議費は 1000 円で決定したのか。

(田中理事) 総会に通してから最終決定となるが、理事会としては審議済みである。

(佐々木理事) 会議費と講師謝金が上がったことでどの程度、差があるか。

(望月理事) 今後、調査し報告する。

## V. 報告事項 (各部署・理事・三役)

### 1. 学会評議委員会

(1) 第 19 回県学会報告・第 20 回県学会進捗報告について  
紙面にて報告

### 2. 事務局

(1) Slack の使用について

現在、理事 ML と併用して Slack を使用しているが、12/25～1/31 まで Slack のみで試験運用を行う。

12/25 以前に理事 ML でやり取りをしている案件はそのままで、12/25～の新規案件が対象。

その運用状況を見て、今後 X ドライブの有料版や Slack の有料版が必要か判断していく。

(澤口理事) 使い方がわからないため書面で使い方など共有してもらいたい。

(玖島理事) 現在、運用の取り決めまではしていないため、現状の使用状況をまとめさせてもらいたい。

(佐々木理事) 昔のメールも見れるようにしたほうがいいのではないかな。消えてしまうと見返せないのではないかな。一括した資料を見たい際に X ドライブはとても使いやすかった。

(玖島理事) メールと Slack の併用で 1 ヶ月試すのはどうか。消えてしまうリスクがあるため併用して頂く方法が良いかと思う。使用感を試して頂きご意見を頂きたい。事務局としては X ドライブを復活させたい。Slack は個人のやり取りが残せるのか、バックアップが取れるかどうかを調べる。それができないのであればメールと Slack の併用で試していく。

(青木理事) グーグルクラスルームは無料で行えるがどうか。履歴も残るため有効か。グーグルクラスルームはグーグルのアカウントを作る必要あり。

(玖島理事) 現在、あがっていたものとして X ドライブ (格納庫) の有料版か無料版か。連絡ツールは Slack の使用感を試していき、有効であれば有料版を使用していくという案がある。グーグルクラスルームの使用方法も確認していき、連絡のやり取りは今まで通り、理事メールと Slack の併用で行なっていく。改めて意見集約して配信していく。

(2) 2024 年度社員総会について

1 月から社員総会に向けた準備を開始。各部署議案書の作成を依頼していく。

まずは社員総会までのスケジュールを作成し、配信する。

(3) 全国公益法人協会への問い合わせ方法について

会員サイトへのログイン方法について 1 法人につき 1 メールアドレスの登録であり、各理事が直接問い合わせるといったことは難しい。問い合わせ窓口を事務局として運用する。

### 3. 財務部

(1) 中間監査 謝金支払について

講師謝金が規程よりも多く支払われていた件があったため注意してほしい。

(2) インボイス制度について

当会はインボイス取得事業所ではないため、問い合わせがあった際はその旨を伝えて頂きたい。

#### 4. 教育部

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議について  
紙面にて報告

#### 【理事・三役】

##### 1. 田中理事

- (1) 渉外報告「第3回協会長士会長会議よんばち（2023年11月25日実施）」  
次回2024年3月9日開催予定。まだ参加されたことのない理事は参加をお願いしたい。
- (2) 選挙管理委員会との連絡調整について  
選挙管理委員会と理事の的一对一の連絡は避けて頂きたいため、選挙管理委員会と連絡する場合は、三役をつけて理事全員へ連絡をするようにしてほしい。

#### 【その他報告部署・理事】

- 奥原理事：MTDLPの意識についてのアンケートを予定。
- 神保会長：会員モデルワーキングの会議2回実施。次回の理事会で進捗状況を伝えていく方向で動いている。
- 澤口理事：1月20日にPT士会・OT士会・ST士会で合同の災害に対する研修会を実施予定。  
障害者の避難をどうしていくか。DMAT、JRATにOTも参加していったらと思う。  
ぜひ参加してもらえればと思うので、メールで発信していく。

#### VI. 監事より

ZOOMに関しては、メリットがあるため無くさない方向で予算の中で使用してもらいたい。  
広報部での学校に行き県士会の話をする事は、会員増員のためにも良いことかと思う。神奈川県士会だけでなく、他県士会に入って頂くよう進めていけたらと思う。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	佐藤 隼	印
	理事：	神保 洋平	印
	監事：	錠内 広之	印